

# HOPES

ホープス セカンド

2nd

大久保・外内行政区の皆さんが農産物の生産・加工に取り組む「いいたて結い農園」で代表を務める長正さんと共にエゴマを栽培し、収穫したエゴマで焼き菓子の開発・販売などを行ってきました。3月の行政区総会で、全世帯が出資し法人化することを決議。手続きを経て、活動が本格化しました。

はじめての作業  
がんばります！

麦わら帽が  
かわいい！



やりがいとつながりが生まれる場に

長正 増夫 さん (大久保・外内)

大久保・外内行政区長。区の全49世帯が出資した一般社団法人「いいたて結い農園(ゆいのうえん)」の代表も務めます。結い農園では現在、エゴマの生産と商品開発に取り組んでいます。



6月中旬には2日をかけ30人ほどが参加してエゴマを作付け。以前から協力する福島大学の学生もアルバイトで参加。昨年の約3倍にあたる3.5haにかわいい苗が並びました。

作業日程を全戸に配り、

来られる人が来て作業をするスタイル。毎回20人程度が集まります。エゴマは無農薬で栽培し、エゴマ油や菓子など、エゴマを使った商品も展開します。「雑穀やオーガニックフラワーの栽培も試験的にやっているし、やりっことはいっぱいあるが、まずはエゴマを軌道に乗せたい」。手をかけ価値を高めた農産物の商品化。楽しみです。

暑い中、二列に並んで、丁寧に苗を植えていった皆さん。一緒に仕事をすると楽しさを味わっているようにも見えました。「1人ではできない農業も、こうやって集まればできるんだ」と長正さん。「こういう作業は大勢で二氣にやるもの。それがいいんだよ」。休憩時間には「腰大丈夫かい」と声をかけ合いながら畦に並んで水分補給。この景色、正に「結い」ですね。

〈編集後記〉

●家で楽しく、続けられる新しいことをはじめようと思いつちガーデニングを開始。農家のベテランの村民の皆さんには、とても見せられるようなものではないかもしれませんが、コツコツと楽しんでいこうと思います。初心者でも育てやすい植物の情報お待ちしております！(木幡)

●「よかったら見て行って」といううれしいお誘い。あるお宅では植物園のような花壇、また別のお宅では「毎年父の日に咲く」という石垣のつるバラ、さらに別のお宅ではグミやブルーベリーの果実畑…。人と植物が織りなす物語に想いをめぐらせ、心地よい風に吹かれて、心の充電がすっかり満タンに。(星)



飯館村は「日本で最も美しい村」連合に加盟しています。